



付知公民館だより



令和4年度 版画コンクールの作品を展示します。

“版画コンクール”は、付知町内の小学5年生を対象とした行事で、付知町木材青壮年会と青少年健全育成推進市民会議付知支部の合同開催で毎年行われているものです。

今年も木材青壮年会の皆さんから“付知の子どもたちに少しでも木に接してもらい、森林を育てることの大切さを感じて欲しい”と朴の木の版画板を提供していただきました。

5年生の皆さんの力作揃いの作品をぜひご覧ください。

展示期間：令和5年1月28日(土)～2月12日(日)

展示時間：9:00～20:00

展示場所：付知公民館内



【付知乳幼児学級にサンタさんがやってきた！】



【バルーンのリース】



【サンタさんからプレゼント】

12/19(月)付知乳幼児学級を開催し、9組19名の親子がクリスマス会を楽しみました♪当日はミニ子育て講話と、バルーンを使ったリース作りなど盛りだくさんの内容でした！そして最後には…サンタさんがプレゼントを持って登場してくれました！

つけちブックサポーター **ぴよこっこ** からのお知らせ



ぴよこっこでは、毎月おすすめの図書を選び図書室に設置しています。今月のテーマは、「大切な人に贈ろう！バレンタイン特集」・「2023年の干支うさぎの絵本」・「もうすぐ節分 おにの絵本」・「2月生まれの絵本作家さん5名の絵本をピックアップ」・「冬の絵本」です！掲示板の横にある「森の図書」をぜひご覧ください！

「あなたのおすすめの一冊！教えて下さい」のコーナー

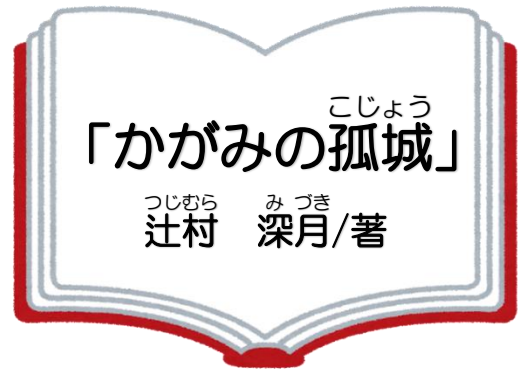
今回おすすめ本を紹介して下さるのは、付知町内にお住まいの高校3年生、W・Sさんです！

この本は、図書室で見かけた時に、表紙のイラストが気になって手に取ったのですが、読み始めたらとても引き込まれる内容で、読み終わってから手元に本が欲しいと思い購入されたそうです！今でも時折読み返したくなる、そんなおすすめの一冊を紹介していただきました♪

付知町 W・Sさん

おすすめの一冊はこちら！

紹介して
下さった方



この本の内容と
おすすめポイント

部屋に引きこもる生活を続けていた、主人公の中学1年生の「こころ」。ある日突然部屋の鏡が光り始め、その向こうにあったのは城のような不思議な建物でした！そこには、こころと似た境遇の7人が集められていました。なぜこの場所に7人が集められたのか、明らかになる時、驚きと感動に包まれます！

この本は、第15回本屋大賞1位に選ばれた本です。また劇場アニメ化され昨年12月23日から公開されています。映画を見られる予定の方も、ぜひ小説を読んでみて下さいね♪



新着本の紹介 (一部抜粋)



新着本は、届いてから3カ月程、図書室カウンター横の「新着図書」コーナーに置いてありますので、ご覧ください！

絵本
絵本
料理
生活
小説
小説

「いねむりおばあちゃんとぼく」 高畠じゅん子/作

「さよならぼくたちのようちえんほいくえん」 新沢としひこ/文

「とんでもないお菓子作り」 江口和明/著

「暮らしとお金のありのまま」 井田典子/著

「川のほとりに立つ者は」 寺地はるな/著

「本と鍵の季節」 米澤穂信/著